

愛媛県看護協会 助産師職能委員会

ニュースレター

第9号

目次

・研修報告

「母子のための地域包括ケアの取り組み～産後ケア事業推進に向けて～」
「多施設合同新人助産師研修」

・産後ケア活動報告

・日本看護協会 看護職賠償責任保険制度 ご案内
・原稿募集中！入会手続きのご案内

研修報告

(その1)

助産師職能委員会研修 (R7年10月18日(土)、愛媛県看護協会)

母子のための地域包括ケアの取り組み～産後ケア事業推進に向けて～

今年度の助産師職能研修は、助産師・看護師合わせて16名の参加がありました。近年、産後ケアについては幅広く活動がされており、注目を浴びています。助産師として産後の母子支援について県内での活動を知り、考える機会として研修を行いました。

講師にゆりかごファミリークリニック:大藤佳子先生をお迎えし、「小児科クリニックで取り組む産後ケアと子育て支援」についてご講義いただきました。産後ケアの現状を知り、妊娠中からのメンタルヘルスの重要性についても学ぶことができました。

また、FUWARI代表:伊藤美香助産師、市立宇和島病院:清水加奈助産師より活動報告をしていただきました。県内での取り組みについて報告いただき、産後ケアに取り組んでいる施設はまだまだ少なく、紹介する側としての知識の補充が必要であると気付きました。産後ケアを必要としている人が利用していくように取り組みを知り、周知していくことが必要であると学びました。

グループワークでは、参加者の様々な施設での取り組みを共有し、自施設にどのように取り入れていくのか考えることができました。時間が足りなくなるぐらい活発に意見交換が行われ、有意義な時間となりました。

「産後ケアについてもっと知りたい・聞きたい」という声もあり、充実した研修となりました。



活動報告

～産後ケア事業に参画して～



当院は、現在西条市と新居浜市の2市から産後ケア事業の委託を受けています。

今年度で産後ケア事業5年になりますが、産後ケアの認知度も年々上がり、前年度は69件の利用数で、今年度はさらに利用者が増加しています。

当院では、宿泊型(24時間)、日帰りA型(10時間)、日帰りB型(6時間)、訪問型の4タイプに対応しています。

利用目的は、主に産後の休息ですが、同時に児の体重増加への不安や授乳支援も含まれています。また、普段は日中児と2人だけのため、産後ケアで担当助産師とおしゃべりすることで「癒された。」「明日からまたお世話頑張ります。」と育児に前向きな声も聞かれます。

利用者にとって食事も楽しみのひとつで、産褥食やおやつを提供し喜んでいただいています。

新生児搬送により母子分離や母子同室経験がない人も産後ケアを通して、授乳・育児の不安が軽減され、自宅へ戻ることができます。

病院で分娩管理を行いながら、産後ケア利用者を安全に受け入れるには、まず人員が必要です。様々な制限はありますが、その中でもできる限り工夫しながら、今後も地域の母子支援に尽力していきたいと、助産師一同頑張っています。

*写真は許可を得て掲載しております。

西条中央病院 助産師 伊藤好江



研修報告 (その2)

多施設新人助産師研修が開始し、県内7施設から新人・2年目・再就職助産師計18名が参加されています。
また、今年度は指導者にあたるスタッフも研修を受講し、学びを共有しています。

第1回は宮崎大学：関屋伸子教授より「助産師クリニカルラダーの基礎知識」についてご講義いただきました。また、先輩の体験談として県立中央病院：河野安友加助産師、西条中央病院：二宮恵里奈助産師よりお話をいただきました。

「私の目指す助産師像」をテーマに個人・グループワークを行い「できるようになったこと」や「できるようになりたいこと」について共有しました。楽しくコミュニケーションを取りながら研修を受けている姿が見受けられ、「他施設で働いている新人助産師と交流ができて良かった。これからも頑張ろうと思った。」と前向きな感想もみられていました。

第2回は徳島大学：葉久真理教授より「妊娠期・分娩期・産褥期の診断とケア」について、松山赤十字病院新生児集中ケア認定看護師：赤羽栄子看護師より「新生児のフィジカルアセスメント」についてご講義いただきました。これまで学んできた基礎的な内容の復習になり、現場で助産師を続けていく中では常に新しい情報に更新していくことが大切ということを学ぶことができました。

参加された指導者からも「新人助産師に混ざって一緒に講義を受けて新鮮だった」との声が上がっており、最新の知識を共有し、助産師に必要なスキルを学ぶことにつながっています。

残り2回の研修も盛りだくさんな内容となっています。一緒に学びを深めていきましょう！！



令和7年度多施設新人助産師研修プログラム

日程	内容	講師
9/26	助産師クリニカルラダーの基礎知識	宮崎大学医学部看護学科 母性看護学・助産学領域 教授 関屋 伸子
	私のキャリア開発	愛媛県立中央病院 河野 安友加 西条中央病院 二宮 恵里奈
11/28	妊娠期・分娩期・産褥期の診断とケア	徳島大学大学院医歯薬学部研究部門 助産学分野 教授 葉久 真理
	新生児のフィジカルアセスメント	松山赤十字病院 新生児集中ケア 認定看護師 赤羽 栄子
令和8年 1/16	思春期男女への支援 不妊の悩みを持つ女性と家族への支援	愛媛大学医学部附属病院 不妊症看護認定看護師 山本 美和
	産科救急とその対応	愛媛大学大学院医学系研究科 病因・病態領域産科婦人科学 教授 杉山 隆
2/4	成長過程の共有や確認 目指す助産師像から今後の課題を見出す	助産師職能委員
	胎児心拍モニタリングの基礎知識	愛媛県立医療技術大学 保健科学部看護学科基礎教育講座 教授 松原 圭一

日本看護協会 看護職賠償責任保険制度 ご案内

公益社団法人 日本看護協会

2026年度版

看護職賠償責任保険制度

「看護職賠償責任保険制度」は日本看護協会会員(開業助産師を除く)のみを加入対象とした任意加入の制度です。

保険を超えたサービスで
あなたを支えます

看護職賠償責任保険制度ホームページ

Web加入はこちらから
<https://li.nurse.or.jp/>



2,650円

※
・組合生保険: 団体割引30%・損害率による割引適用

助産師は自ら責任をもって
助産を行う専門職!

専門性を最大限に發揮することが
期待されている一方、専門職として
責務とリスクが伴います。
ぜひ! ご加入をご検討ください。

原稿募集中! 入会手続きのご案内

ニュースレターを通じて実践活動や求人などの情報を共有しませんか?

掲載を希望される方は愛媛県看護協会までご連絡ください。次号の原稿締切日は、2026年8月末日です。

愛媛県看護協会へ入会し、助産師間で知識と経験を共有し、
母子に向けて質の高いケアを提供しませんか?

また日本看護協会の看護職賠償責任保険制度は院内助産
システムにも対応しており、日々の看護業務で起こりうる
トラブルやリスクから守る制度があります。

(パンフレット参照)

入会を希望される方は、下記までご連絡ください。
お待ちしております。

公益社団法人愛媛県看護協会

事務局 E-Mail nursing-ehime@circus.ocn.ne.jp

どうぞよろしく
お願い申します。